

総合授業 自己エゴグラムセルフテスト



9月6日の5・6限目、普通科1年生対象の総合授業、今回のテーマはコミュニケーション。講師はスクールカウンセラーの見並先生、林先生。そして野村先生だ。

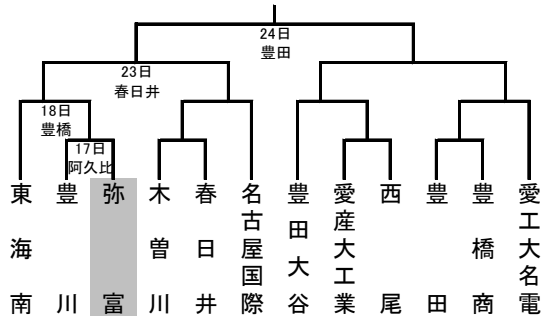
今回の授業では「自己エゴグラムのセルフテスト」を実施。エゴグラムとは、自分の行動の特徴や性格傾向を自己分析し、それをグラフにしていこうというもの。最近専門分野以外の雑誌などでも取り上げられるようになり、自分を知り、自分の在り方変えていく一つの手がかりとして広く活用されるようになった。

50の問いに「はい」「どちらでもない」「いいえ」を記入し、それを点数化、合計点を折れ線グラフにする。そのグラフを見て自分を分析するのだが、生徒たちは皆、真剣。結果を見て、驚いたり、納得したりと、表情は様々だが、テストを楽しんでいた。

講師の先生は「自分自身を磨くためには、自分をよく知り、そして足りないところを補うために努力をすることが大切」と。

この授業が自分を成長させるためのヒントになれば、と感じた

Dゾーン組み合わせ



1回戦 豊川高校
17日(日) 阿久比球場
10時

1年生陸上競技
知多・尾張大会



砲丸投げ
2位 阪口 輔君
知多市陸上競技場
7月22・23日
1-2 南陽東中



やり投げ
優勝 磯谷勇人君
1-3 弥富中

二人とも初めて大きな大会に出場し、「本番前はとても緊張したが、競技に入ると集中し、いつの間にか緊張も消えていった。投げ終わった後は、やり切ったという達成感が湧いてきた。これからもさらに練習し、記録をのばしていきたい。」と元気に答えてくれた。

彼らの目標は、坂口君は世界陸上、磯谷君はインターハイ出場。そして優勝することと胸を張って答えた。

他の陸上部員たちも毎日遅くまで練習に励んでいる。今後の陸上部の活躍に期待したい。

センバツ大会に向け、発進
組み合わせ決まる 本校Dゾーン

来春のセンバツ出場校選出の重要な資料となる「第59回昇高校野球選手権大会」(県高校野球連盟主催、毎日新聞社後援)の組み合わせ抽選会が8日、名古屋市中区の朝日会館で開かれ、各校の対戦相手が決まった。

同大会には名古屋、東三河、西三河、知多、尾張の5地区から予選を勝ち抜いた50校と、夏の甲子園に出場した愛工大名電の計51校が出場する。

16日に開幕し、予定通り進めば10月1日に決勝戦

が行われる。上位3校は10月28日から三重県内で開かれる東海大会に出場する。

◇Dゾーン
夏の甲子園出場校の愛工大名電は2年生の森本慎也投手が引つ張り、実力では一步抜きん出ている。知多地区1位の東海南、強豪の豊田大谷、力をつけてきた名古屋国際にも注目。西尾は良くまとまっており、侮れない存在。

【毎日新聞9月9日より】

あんずボランティア
貴重な体験

生徒会を中心に7月30日、老人福祉施設「あんず」の夏祭りへボランティアに出かけた。

施設内で生活しているお爺さん・お婆さんが楽しめるようにと補助役で参加した生徒は、「初めてお会いする人で、気難しそうに思ったが、少しお世話をしただけで楽しそうにしてくれた。力になって良かった。」と感想を述べていた。



卒業生も大活躍
女子柔道

ドイツジュニア国際大会

ドイツ ベルリン 8月12・13日
52kg級 村口ゆい (三井住友海上) 優勝
63kg級 小澤理奈 (山梨学院大2年) 2位

第36回全日本実業柔道個人選手権大会

尼崎市記念公園
総合体育館 8月27日
52kg級 3位 村口ゆい

第9回全日本女子ジュニア体重量別選手権大会

63kg級 優勝 小澤理奈
【全日本柔道連盟より】



後列左端が小澤さん